



岡山県 牛窓

第58期

中間報告書

2019年11月1日～2020年4月30日

証券コード：7856

萩原工業株式会社

株主のみなさまには、平素より温かいご支援、ご理解を賜り、心よりお礼申し上げます。
第58期第2四半期の事業の概況についてご報告申し上げます。

業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、期間後半に新型コロナウイルスの影響拡大により、急激な減速となり、決定的な感染対策がないことから先行きの見えない状況にありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましても、外出自粛等で営業活動や製品の納入が制約されるなどの影響を受けており、さらに今後は様々な分野で需要縮減の可能性があり、それら影響の最小化を図るべく、事業活動を継続しております。

その結果、売上高141億50百万円（前年同四半期比4.3%減）、営業利益14億21百万円（前年同四半期比9.2%増）、経常利益16億56百万円（前年同四半期比31.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11億39百万円（前年同四半期比31.3%増）となりました。

合成樹脂加工製品事業

合成樹脂加工製品事業におきましては、新型コロナウイルスの影響で資材確保の動きが見られたシート関連、粘着テープ用基材及びコンクリート補強繊維「バルチップ」などが好調でした。一方、需要が低迷した海外向けラミネートクロスや、国内外の荷動き鈍化の影響を受けたフレキシブルコンテナバッグなどが不調で、全体としては減収に終わりました。

インドネシア子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」は通常通りに稼働、中国子会社「青島萩原工業有限公司」は、新型コロナウイルスの影響で春節明けの稼働開始が遅れましたがその後生産は回復しております。

国内子会社「東洋平成ポリマー株式会社」は、堅調に推移しました。

その結果、売上高115億89百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益11億32百万円（前年同四半期比21.5%増）となりました。

機械製品事業

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器は、国内では引き続きキャッシュレス普及に関する需要があった紙関係は好調でしたが、その他製品は、外出制限等の影響で納品ができない案件が発生しており、全体では減収となりました。

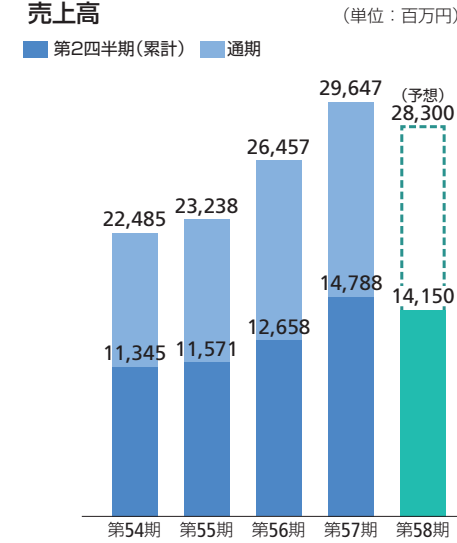
その結果、売上高25億60百万円（前年同四半期比13.2%減）、営業利益2億89百万円（前年同四半期比21.7%減）となりました。

株主のみなさまには、引き続きご支援ご鞭撻をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

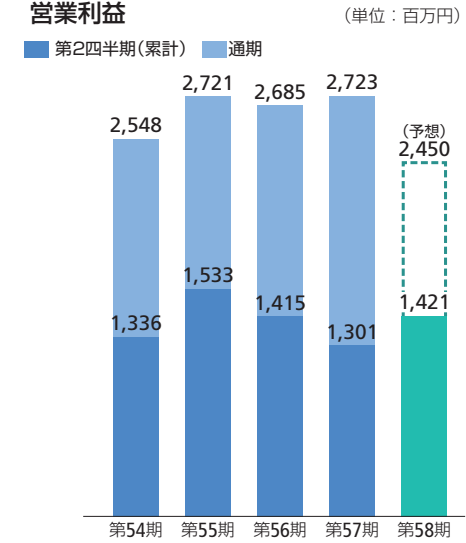


代表取締役社長 浅野和志

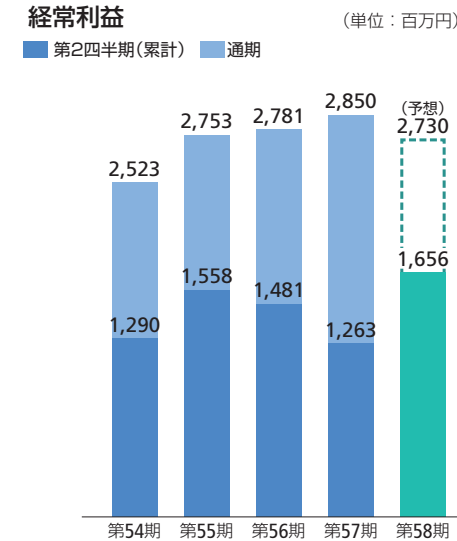
売上高



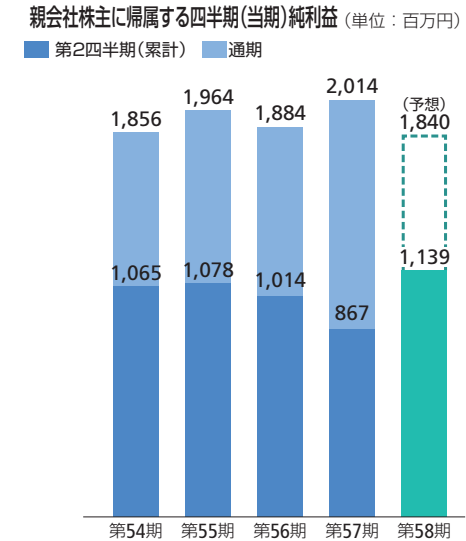
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



2020年10月期 第2四半期決算サマリー(連結)

■ 売上高
141 億 50 百万円
前年同四半期比 **4.3 %減**

■ 営業利益
14 億 21 百万円
前年同四半期比 **9.2 %増**

■ 経常利益
16 億 56 百万円
前年同四半期比 **31.1 %増**

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益
11 億 39 百万円
前年同四半期比 **31.3 %増**

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前第2四半期 2019年4月30日現在	当第2四半期 2020年4月30日現在	前期 2019年10月31日現在		前第2四半期 2019年4月30日現在	当第2四半期 2020年4月30日現在	前期 2019年10月31日現在
資産の部				負債の部			
Point 1 流動資産	19,160	20,330	19,425	Point 3 流動負債	9,131	8,106	8,578
Point 2 固定資産	13,062	12,399	13,146	Point 3 固定負債	1,462	1,445	1,638
有形固定資産	9,604	9,641	9,766	負債合計	10,593	9,551	10,217
無形固定資産	1,021	795	893	純資産の部			
投資その他の資産	2,435	1,962	2,486	株主資本	21,375	23,176	22,289
資産合計	32,222	32,729	32,572	資本金	1,778	1,778	1,778
				資本剰余金	1,469	1,469	1,469
				利益剰余金	18,601	20,393	19,515
				自己株式	△ 473	△ 464	△ 473
				その他の包括利益累計額	252	0	63
				その他有価証券評価差額金	8	△ 2	10
				繰延ヘッジ損益	0	△ 1	2
				為替換算調整勘定	153	△ 89	△ 36
				退職給付に係る調整累計額	88	94	87
				非支配株主持分	1	1	1
				純資産合計	21,629	23,178	22,354
				負債純資産合計	32,222	32,729	32,572

Point 1 流動資産

現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことにより203億30百万円となりました。

Point 2 固定資産

遊休地の売却による土地の減少及び保険積立金の解約により123億99百万円となりました。

Point 3 流動負債、固定負債

流動負債は、短期借入金等の減少により81億6百万円となりました。固定負債は長期借入金等の減少により14億45百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自2018年11月1日 至2019年4月30日	当第2四半期(累計) 自2019年11月1日 至2020年4月30日	前期 自2018年11月1日 至2019年10月31日
売上高	14,788	14,150	29,647
売上原価	10,706	9,992	21,270
売上総利益	4,082	4,158	8,377
販売費及び一般管理費	2,780	2,736	5,653
Point 4 営業利益	1,301	1,421	2,723
営業外収益	69	280	327
営業外費用	107	45	200
Point 4 経常利益	1,263	1,656	2,850
特別利益	—	52	—
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,263	1,709	2,850
法人税等	396	570	836
四半期(当期)純利益	867	1,139	2,014
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	0	0	0
Point 4 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	867	1,139	2,014

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point 4 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

継続的な戦略製品の市場投入に加え、官需備蓄積み増しへ積極的に展開した結果、営業利益14億21百万円、経常利益16億56百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益11億39百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自2018年11月1日 至2019年4月30日	当第2四半期(累計) 自2019年11月1日 至2020年4月30日	前期 自2018年11月1日 至2019年10月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	734	1,667	3,604
Point 5 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,149	123	△ 1,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 178	△ 757	△ 407
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△ 7	△ 5
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△ 586	1,026	1,388
現金及び現金同等物の期首残高	4,167	5,556	4,167
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	3,580	6,582	5,556

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、遊休地の売却及び保険積立金の解約等で1億23百万円の資金の増加となりました。

合成樹脂加工製品事業

官需備蓄積み増しとさくらシート販売開始

2018年の西日本豪雨、2019年の台風19号など、近年さまざまな災害が各地で甚大な被害をもたらしました。これらを教訓に今後起こりうる災害に備えるため、多くの自治体でブルーシートの備蓄が行われています。当社シートの耐久性や、多くの家屋を守った実績が評価され、1都、4県、23市、1町、8区にて約65,000枚のシートが備蓄用として採用されました。

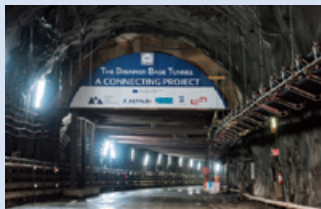
また、お馴染みの和みシートが「菱の織模様と優しい色合いが風景と心に和みを添える」というコンセプトのもと、春の装いへと衣替えをしました。人々の心に新たな「和み」をご提供いたします。



バルチックの国内災害復興への貢献と海外巨大プロジェクトでの採用



国内使用例：斜面



海外使用例：鉄道トンネル

国内では、昨今の大型台風や豪雨災害を受け、崩落した斜面の復旧や崩落リスクを抑えるための斜面の補強工事が全国で進められており、ここでも耐久性向上と工期短縮を目的にバルチックが使用されています。

海外では、オーストリアとイタリア間を縦断する鉄道トンネル工事で、トンネルを補強する吹付けコンクリートでバルチックが使用されています。世界で2番目に長いトンネルとなる巨大プロジェクトとして世界的に注目されています。

今後も国内外のインフラ強靱化に貢献すべく活動してまいります。

機械製品事業

顧客ニーズ・新規市場の開拓

エンジニアリング事業部門では、新規市場及び新規顧客開拓、顧客ニーズ調査、戦略製品PR、知名度向上などを目的に、国内外で積極的に展示会出展しております。

2019年12月4日～6日には、幕張メッセで開催された「高機能フィルム展」にスリッターの基幹機種及び押出機関連設備を出展いたしました。本展示会は台湾のGEORDING社と共同出展し、同社はプラスチック再生機を出展しました。また新しい試みとしてレーザーメーカー、超音波メーカーとコラボレーションすることにより、様々な基材でのスリット品質を追求されているお客様のニーズを発掘し、当社の新たな取り組みを市場へ訴求することができました。

2020年1月9日～12日には、エジプトで開催された「Plastex 2020」に出展いたしました。北アフリカの経済・産業の中心地であるエジプトへの初出展により、当該地域への足掛かりができました。

今後も市場への訴求と新規市場の開拓に尽力してまいります。



「高機能フィルム展」



GEORDING社との共同出展



「Plastex 2020」

ラグビーW杯で活躍！ フローリング人工芝

2019年9月20日～11月2日、日本各地でラグビーワールドカップ2019の試合が開催されました。

決勝戦も行われた横浜国際総合競技場では、当社の糸を使用して製造されたフローリング人工芝が採用されました。同競技場には陸上トラックがあり、試合がある際には選手がピッチ外で練習できるように人工芝を敷設します。同競技場は広いトラックに対して1.7×22mの人工芝を設置・撤去するために大変な労力を費やしていました。当社がユニチカ株式会社及びカンボウプラス株式会社と協働・製造したフローリング人工芝は、軽量で設置・撤去しやすく、今後も様々な試合やイベントが行われる同競技場にぴったりの人工芝だと評価され採用となりました。

ラグビーのような激しい衝突を伴うスポーツでは選手が怪我を負うことも多いですが、当社の糸は従来の人工芝に比べて柔らかくてきめが細かく、天然芝に近いクッション性が特長です。

今後も当社製糸の更なる拡大を目指してまいります。



製造・販売元：カンボウプラス株式会社



岡山大学と連携・協力に関する協定を締結



▲岡山大学長 榎野 博史氏、当社代表取締役社長 浅野 和志

2020年1月16日、共同研究の推進や研究者・開発者の交流などの連携・協力を通じ、SDGs達成に貢献するため、岡山大学と連携・協力に関する協定を締結しました。

【連携・協力に関する内容】

- ①共同研究の推進
- ②研究者及び開発者による研究開発交流を含む相互交流
- ③人材育成に関する相互の推進及び支援

岡山大学と当社はこれまでも共同研究などさまざまな形で連携をしてきました。

今後はこの新たな協定を通じて、環境負荷の少ないフィルムなどの開発、ブルーシートやバルチックのより良いリサイクル方法、防災・減災ソリューションなど、SDGs達成への貢献をテーマとした実施を目指していきます。また、教育の面においても、社員と学生の活発な交流や教育を通じて、SDGs達成に貢献できる人材の育成を行っていきます。

本協定が過去の常識からはみ出し新たな価値を創造していく活動となるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。

岡山大学長 榎野 博史氏ご撮影の「牛窓」を、表紙写真に使用させていただきました。

榎野 博史氏コメント

日本のエーゲ海牛窓

萩原工業株式会社と岡山大学は2020年1月にSDGsの達成に向け連携・協力に関する協定を締結しました。岡山大学はそれぞれの地域の歴史、文化、資源に根ざしたSDGsを目指しています。

米シガン大学日本研究所 初代所長のロバート・ホールは吉備の国は「日本文明の揺籃地であり、古来最も知的伝統に富む」と述べています。なかでも牛窓は古くから海上交通で風待港として栄え、江戸時代より朝鮮通信使の寄港地でもあり、歴史と文化の香る港町です。温暖な気候でオリーブも良く育ち、日本の夕陽百選に選ばれています。



まきの ひろふみ
榎野 博史
国立大学法人岡山大学長

工場見学会＆会社説明会のご案内

萩原工業では個人投資家様向け工場見学会＆会社説明会を行っております。毎年8月頃*に当社ホームページに案内を掲載しております。みなさまのご参加をお待ちしております。



昨年は本社工場と里庄工場にて見学会を行いました。

まず初めに代表取締役社長の浅野より会社の紹介や事業の説明などを行い、その後、工場を見学していただきました。



工場見学後には質疑応答の時間を設けました。さまざまな質問をいただき、株主のみなさまと交流を図ることができました。

*新型コロナウイルスの影響で、工場見学会の開催時期が例年と異なる場合がございます。開催の際は、当社ホームページにてご案内いたします。

当社ホームページ IRニュース (https://www.hagihara.co.jp/ir/ir_news/)

■株式に関する事項

(2020年4月30日現在)

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式総数	14,897,600株
単元株式数	100株
株主数	7,634名

大株主（上位10名）

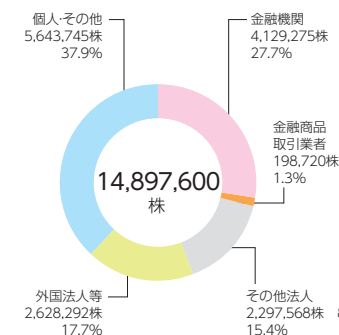
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
萩原株式会社	1,435	9.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,051	7.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	956	6.57
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	557	3.83
萩原邦章	524	3.60
萩原工業従業員持株会	413	2.84
日本ポリケム株式会社	400	2.74
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	323	2.22
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	241	1.65
RE FUND 107-CLIENT AC	232	1.59

(注) 1. 当社は自己株式351,438株を所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

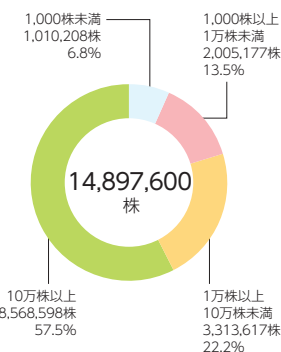
■株式分布状況

(2020年4月30日現在)

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



■会社概要

(2020年4月30日現在)

商号	萩原工業株式会社
本社	〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
	TEL.086-440-0860
	FAX.086-440-0869
設立	1962年（昭和37年）11月29日
資本金	17億78百万円
従業員数	481名
主な事業内容	ポリエチレン・ポリプロピレンを主原料とした合成樹脂繊維のフラットヤーンを用いた関連製品及びフラットヤーン技術を応用したスリッター等産業機械の製造・販売

■役員

(2020年4月30日現在)

【取締役】	
代表取締役会長	萩原邦章
代表取締役社長	社長執行役員 浅野和志
取締役	常務執行役員 笹原義博
取締役	執行役員 吉田淳一
取締役	執行役員 松浦正幸
取締役	執行役員 飯山辰彦
社外取締役	中原裕二
社外取締役	大原あかね

【監査役】	
常勤監査役	金光利文
監査役	石井辰彦
監査役	三宅孝治

【執行役員】	
執行役員	藤田学
執行役員	國定佳孝
執行役員	犬飼正樹
執行役員	笹木真尚
執行役員	川島薫

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	7856
事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	1月
基準日	定時株主総会 10月31日
	期末配当 10月31日
	中間配当 4月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告
	当社ホームページアドレス https://www.hagihara.co.jp/
	※ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777（通話料無料）

株式のお手続きについてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店におきましてもお取り扱いいたしません。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。